

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160-0017
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail:jauw@tky2.3web.ne.jp
発行人 今井 けい
編集責任者 松本 佳子

J A U W

おもな記事

- 1面 全国セミナー 会長・企画委員長のことは、第28回IFUW総会日程ほか
- 2～3面 パネルディスカッション、セミナー 研究報告概要(2～4面)
- 4面 新春のつどい、第3回自然科学講演会のお知らせ、財務バスツアー、新入会員、理事会から、声・声・声

2003年度JAUW全国セミナー
ICTは女性の未来をいかに拓くか
10月11日(土)・12日(日)
国立女性教育会館にて

武蔵野の秋が深まるエックで、去年よりは1週間遅く全国セミナーが開催された。今年も基調講演に代わり、パネルディスカッションが企画されたが、人選もよく好評であった。3会場に分かれて進行した研究発表では、どのグループもパワーポイントを駆使、鮮明な画像に、ICT技術の目ざましい向上が印象づけられた。

ICTと女性の未来

会長 今井 けい

木々の葉も色づき始めたエックで、内閣府から久保真季氏を、また文部科学省から根本幸枝氏を来賓としてお迎えして、全国セミナーは成功裡に開催することができました。今年のテーマは昨年引き続き「ICTの普及が経済、社会、文化、生活のすみずみにまで及んでいる今日、時宜に合ったものと言えましょう。会員のICTへの関心も深まり、支部・委員会等の発表数も14に増え、3会場に分かれての同時併行の発表になりました。報告の内容も昨年より、さらに充実したとの感想が寄せられています。Iの「職域拡大」では、関東と関西のICT産業で働く女性を対象と

全国セミナーを終えて

企画委員長 小西 厚子

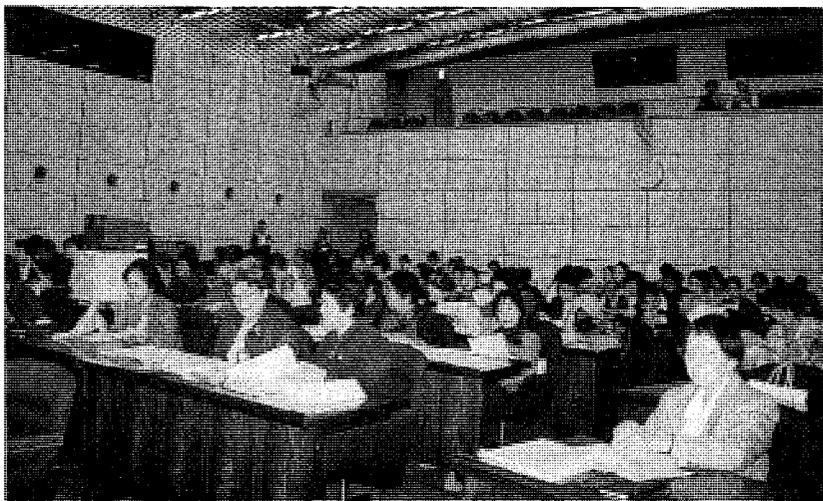
今年度の参加者数は、来賓2名、パネリスト4名、会員152名、一般7名、職員1名、合計166名であった。ICTをテーマにした2年目の成果の一つは、発表方法のICT化が定着したことだった。研究発表者たちは、調査・研究・分析とともにパワーポイントの発表技術の習得にも取り組んだようである。発表前日に、情報委員がアシストして各発表会場で準備し、当日も会場に情報委員が控えてICT化の発表が行われた。昨年と比較して、一段と視覚に訴える工夫をした発表が行なわれて、参加者に調査・研究内容を印象づける発表がなされた。



オープニングの会長あいさつ(11日)

企画委員会が行ったアンケートからセミナーに寄せられた声を紹介する。3会場に分散して行った研究発表の形式については、賛否両論の声がかかれた。賛成派は、研究発表の内容をじっくり聞くことができて良かった、という。しかし、全部の研究発表を聞きかたかった、特に研究発表当事者たちは、分科会を含めて自分たちと同テーマの発表しか聞けなかったと、この形式に不満の声も少なくないようである。

また、初めての試みとして11日の午後、一時間余り時間をとった情報交換コーナーについては、次のような感想が挙げられている。情報交換コーナーは、研究発表関係者間の意見交換が主になっていた、このコー



「女性と情報社会—ICTは女性の未来をいかに拓くか」をテーマに、熱気あふれるセミナー会場風景(11日)エック、大会議室で。

ネル討論では、ICT開発における女性専門家の養成、ICTによる教育の効果、またICTを使った女性起業家の活躍などについて、中身の濃い議論が展開されました。ICTに関する統計は未だ不足していますが、私たちの今回の調査が多少でもこの不足を補えればと思います。さらにICTが女性の未来を拓くとの観点から、今後とも私たちの技術のレベルアップと、女性に不可欠な情報の収集・発信に貢献できることを願っています。と同時に、ICTの影の部分である出会い系サイトやポルノの追放に努力したいと思います。

最後に、来賓とパネリストの方々および多くの会員の協力のおかげで、実り多いセミナーになったことに心から感謝いたします。

「若手会員育成金」による、研究会及びIFUW第28回総会出席者募集

2004年度は、次のように研究会とIFUW第28回総会出席者を募集します。詳細は、委員長または支部長を通じて本部へお問い合わせください。

- ① 研究会…1グループ(45歳以下の会員主宰)年間20万円まで研究助成金支給、2年継続も可。申込み締切り 2004年1月31日
- ② IFUW第28回総会(2004年8月4日～10日 於パース)出席者…4名(45歳以下の会員) 1名につき20万円渡航費補助 申込み締切り 2004年5月31日

パース総会に向けて 国際委員長 柳原由美子

第28回IFUW総会が2004年8月、下記の日程で、オーストラリアのパースで開催されます。今回の会議は、IFUW定款・内規の改訂、会費の値上げなど、IFUWの将来に関わるさまざまな問題が話し合われます。また、青木怜子IFUW会長と房野桂IFUW女性の地位委員が任期を終了される総会でもあります。会員の皆様のできるだけのご参加をお待ちいたします。なお、日本からの参加者が40名以上の場合、日本語の同時通訳が導入される予定です。

第28回IFUW総会会議日程予定 (2003年11月10日現在)

日時	午前 (9:00~12:15)	昼食	午後 (14:00~18:00)	夜 (18:00~21:00)
8月4日(木)	第86回評議会 登録開始		第86回評議会 登録	19:00 開会式&レセプション
5日(木)	ビジネス・セッション/全体会議		ビジネス・セッション/全体会議	18:00 プロジェクト・イブニング 20:00 ヤング・メンバーの会
6日(金)	ビジネス・セッション/全体会議	VGIFランチ ヤングメンバーの会ランチ	ビジネス・セッション/全体会議	18:30 リージョナル・グループの会
7日(土)	学際セミナー		学際セミナー	18:00 オーストラリアン・イブニング
8日(日)	ワークショップ		ワークショップ 決議案の検討	
9日(月)	ビジネス・セッション	VGIFランチ ヤングメンバーの会ランチ	ビジネス・セッション	18:00 ミーティング (NFA、ネットワーク) 19:30 IFUW新・旧役員会と新委員会
10日(火)	ビジネス・セッション		ビジネス・セッション(NewSAAP)	晩餐会
11日(水)	第87回評議会 プロフェッショナル・ビジット		プロフェッショナル・ビジット	
12日(木)	ツアー開始			

第28回IFUW総会出席旅行のご案内

皆様ご承知のとおり、第28回IFUW総会が2004年8月4日(水)～10日(火)の日程でオーストラリアのパースにて開催されます。弊社では前回のオタワに引き続きまして、大学婦人協会様より正式に指定旅行代理店としてご依頼いただきました。過去の経験をもとに会員の皆様ならではの魅力ある旅行になりますよう努めさせていただきたいと思っております。下記のようなご旅行日程を企画いたしました。

- A 会議出席コース 10日間 概算費用:19万円 (2004年8月2日～8月11日) [パース]
- B 会議出席と世界遺産をめぐるコース 15日間 概算費用:39万円 (2004年8月2日～8月16日) [パース・エアーズロック・シドニー(ブルーマウンテンズ)]
- C 会議出席とオーストラリア西と東をめぐるコース 16日間 概算費用:34万円 (2004年8月2日～8月17日) [パース・メルボルン・シドニー]

※各コース共パース宿泊費は含まれません。

詳細につきましては弊社よりご案内をお送りしますので、下記担当者までご一報下さい。上記コース以外にも、ご自由にご日程をお組みいただくオリジナルツアー、大阪・名古屋・福岡など地方発も承りますので、お気軽にご相談下さい。

また、来年2月中旬、IFUW会長青木怜子先生のジュネーヴでの最後の理事会があります。オブザーバーとしてご参加いただけますので、この機会に覗いてみませんか。おひとりでも承ります。

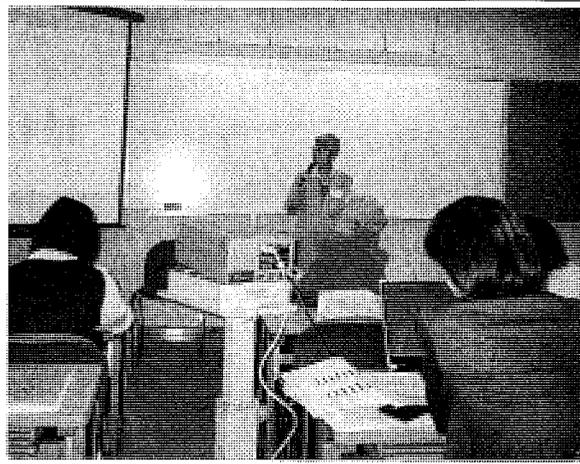
JTB東京京橋支店

(1/5～JTB東京日本橋支店に名称変更・移転致します)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-3 TEL:03-3272-7511 FAX:03-3272-7407

IFUW総会出席旅行係 担当:黒木志穂・小野垣勲・金子真澄

た。9割の施設は女性問題の情報を重視しており、その情報が広く提供されることは今後の課題と考えられる。課題では、職員へのICT能力の向上や関連団体との情報の共有化、情報格差是正に向けた取り組みが挙げられる。



研究発表は、テーマ別に3つの会場に分かれ、どのグループもパワーポイントを使って行われた。(写真=神奈川支部)

ICTと子育て支援情報

東京支部 遠藤 理枝

社会生活、経済生活の変化により、特に女性の生活スタイルやライフサイクルが変化し、それに伴い結婚行動の多様化や出産の減少傾向が著しく、1990年の1・57シヨック以来、少子化の一途を辿っている。少子高齢化の社会問題を解決するために、さまざまな施策や対策が講じられている。しかし、実際に子育てをする場合その支援がどの程度活用され、効果が上がっているのか。そして自治体利用者に対して発信している支援策についての情報開示のレベル(質と量)と利用者への周知度、自治体間による子育て支援策やその情報開示・伝達の姿勢の差等、実態はどのような

情報リテラシーのエンパワーメントと「優しさ」の実現に向けて

茨城支部 安久子

ICTをツールとして使いこなすためのスキルアップを図ると共に、ICTでエンパワーメントし社会参画している女性の情報や、ICT弱者に私たちが何ができるかを問うことが、優しさの実現に向けてのりテラシーであることも踏まえ、以下の調査研究を行った。

① 掲示板を立ち上げ、ICTによる生活の変化を問う。② ICT活用講座を実施、スキルのステップアップを図る。③ シンポジウム「ネット社会と私」を開催、情報の取捨選択とリテラシーを学ぶ。④ ICTの現状を探る。⑤ ICTで障害者の自立促進を図っている茨城福祉工場との状況から、茨城でのICT化による優しさの実現を追求する。

社会的弱者へのサポートの道具として、ICTの役割は大きい。障害情報リテラシー格差の克服と社会参加

新潟支部 登坂美江子

「情報リテラシーの男女間格差」に関する昨年「最も大きな格差が見られたことから、今年も引き続いて、職業形態の比率が50代女性と比較して、格差の原因を詳しく調べた。

その結果、在職当時既にパソコンが普及し、仕事を通じてスキルを身につけた30代女性と、時間的経済的ゆとりでそれを積極的に獲得した50代女性と比べ、そのどちらに

りプロダクティブ・ライツ推進のための情報リテラシー

— エイズ蔓延の危機をくい止めるために —

神戸支部 田中嘉寿子

リプロダクティブ・ライツの概念は、北京会議の前身(1994年)にあると考え、認知度を国際人口開発会議で確立させた。

対象はJAUW神戸支部会員、男子高校生、女子専門学校生、一般人で、1000枚配布し810枚回収した。設問は人権問題・感染経路と予防・母子感染等23問7項目にわたって調査し、設問ごとに各世代の回答を棒グラフで表し、書き込み欄の意見は円グラフにまとめた。それによると、エイズに関する基本的なこと(感染経路と予防)は80%の人がクリアしているが、社会全体の正しい情報の伝達に十分でないため興味本位の知識しか啓蒙の意味も含めた。



分科会Ⅲ、「ICTと教育」をテーマに、少人数で熱心に話し合う。

「コミュニケーション・ツールとしてのICTに関する意識の世代間格差」変化する家族のありかた

神奈川支部 堀美知子

最近の青少年が犯罪に巻き込まれる事件に、携帯電話が使われていること、親世代から、子どもへの生活が見えなくなってきたという不安を聞くことが多くなったこと、この調査の原点。

20年前、子どもの自立を目指し無理してまで子供部屋を作ったことが、親子の断絶を引き起こしてしまっただけでなく、携帯電話に代表されるICTの急速な普及がその現象と同じような結果をもたらしているのではと考えた。「個電」を指すという経営者も出現している。ICTの影の部分を改めて探り出した反面、ICTを通してのコミュニケーションに変わりつつあることがわかった。が、子どもの動向が見えないとの記述も多く、これからはICTの利用に関して親子で話し合うことが急がれること、問題解決の糸

ICTを活用して女性の社会参画の方法を探そう

女性と社会システムを考える会 鈴木 紀子

今年のセミナーでは、小会でのこれまでの活動報告を行うとともに、「PCT体験コーナー」を設け、インターネットの実際の活用方法を紹介した。

まず、活動報告として、小会のホームページで公開した「女性と年金情報ホームページ」の内容、その作成・編集手順および並行して実践してきた活動について発表した。

また、2004年度改正が予定されている公的年金制度に焦点をあて、会員が傍聴した厚生労働省社会保障審議会年金部会での議論の様子やその後の改革議論の展開にも触れた。

併せて、「政策に関する情報リテラシーのためICTを使う」ことを共通のテーマとして、会員が個々に調査・報告し

また、2004年度改正が予定されている公的年金制度に焦点をあて、会員が傍聴した厚生労働省社会保障審議会年金部会での議論の様子やその後の改革議論の展開にも触れた。

併せて、「政策に関する情報リテラシーのためICTを使う」ことを共通のテーマとして、会員が個々に調査・報告し

ICTとジェンダー教育—ジェンダーの視点によるメディア・リテラシー教育実践に向けて—

教育委員会 伊藤めぐみ

ICT男女平等教育と指導者育成の現状

岡山市立箕島小学校の事例をもとに

岡山支部 真邊 和美

日本は学習指導要領に沿って公教育を実施している。しかし、今回の抜擢は、小学校では取り扱われていない。端的に言えば、小学校では取り扱われていない。端的に言えば、小学校では取り扱われていない。端的に言えば、小学校では取り扱われていない。

JAUW新春のつどい

共に、感動で胸がいっぱいの国内奨学金贈呈式（国内奨学委員会、社会福祉委員会、東京支部共催）を祝いましょう。JAUW「新春のつどい」のお誘いです。奨学生たちの若々しい意欲的なスピーチを、ぜひお聞きください。日頃お忙しい方も、何となく足が遠慮している方も、奨学生ともども、お食事に歓談に、楽しい時を過ごしましょう。情報交換も、大いにやろうではありませんか。

日時 2004年1月10日(土) 11:00~14:00

場所 京王プラザホテル 南館4F 「扇の間」

TEL:03-3344-0111

会費 10,000円 アトラクションに音楽演奏を予定。

申込先 (社)大学婦人協会本部事務所

Tel:03-3358-2882 Fax:03-3358-2889

E-mail:jauw@tky2.3web.ne.jp

締切日 2003年12月18日(木)

振込先 東京三菱銀行四谷支店

普通預金・口座番号1077777

別口 (社)大学婦人協会 理事 今井 けい

*財務委員会のバザーを行います。寄贈品のご協力とお買い物の協力をお願い申し上げます。

第3回自然科学講演会のお知らせ

「自然現象の中での秩序と無秩序について」
—科学史から見たエントロピー—

講師 八木 江里 委員 (科学研究奨励委員会)
東洋大学名誉教授・理学博士

日時 12月13日(土) 14:00~16:00

場所 お茶の水女子大学理学部3号館2F会議室

申し込み 12月10日(水)までに JAUW事務所へ。

文系の皆さんのご参加をお待ちしています。

科学研究奨励委員会

(東京支部・お茶の水女子大学と共催)

新入会員 (21名) 2003年7月~11月 理事会承認

札幌支部	野崎 由利 (マリアンド)	062-0035	札幌市豊平区西岡五条14丁目18-15
	本間 恵子 (早)	004-0041	札幌市厚別区大谷地東7-6-3-1208
福島支部	中島 宏子 (相女)	960-1446	福島県伊達郡川俣町館61-10
新潟支部	石田 陽子 (新潟)	951-8124	新潟市医学町通2-74-1 トーカンマンション医学町505
茨城支部	安藤 みゆき (早成誠)	310-0056	茨城県水戸市文京1-6-5
	千田 久仁子 (専修)	310-0912	茨城県水戸市見川2-198-8 見川コーポ203
東京支部	高井 孝子 (武蔵音)	106-0047	東京都港区南麻布1-27-23
	濱崎 恒子 (東大)	112-0001	東京都文京区白山4-21-16
	脇野 政子 (神戸)	274-0074	千葉県船橋市滝台1-6-1-803
静岡支部	柴田 邦子 (静岡)	424-0113	静岡県清水市原41-9
福井支部	東野 香里 (同女)	919-0425	福井県坂井郡春江町いちい野北616
金沢支部	早稲田 邦子 (日女)	920-0804	石川県金沢市鳴和2-5-10
京都支部	鈴木 綾子 (同女)	520-2134	滋賀県大津市頼田5-40-5
大阪支部	国村 嘉子 (樟女)	599-8111	大阪府堺市日置荘北町1-40-19
神戸支部	古川 起与子 (奈女)	655-0872	神戸市垂水区塩屋町3-25-1-108
	森川 貞枝 (奈女)	655-0037	神戸市垂水区歌敷山4-2-15
	山上 栄子 (神戸)	655-0004	神戸市垂水区学が丘4-14-26
岡山支部	犬飼 茂子 (ノ清心)	703-8201	岡山市四御神144-7-A-202
	長田 友子 (岡山)	710-0834	岡山県倉敷市笹竹1139-30
	向井 潤子 (神戸・院)	703-8283	岡山市赤坂南新町3-3-102
大分支部	内田 芳子 (県広女)	874-0848	大分県別府市大畑7-1

世界のICT教育アンケート調査

国際委員会 穂田 信子

ICT教育の現状の一端を捉えるべく、インターネットによるアンケート調査を行った。調査対象は公立私立の小中高校、世界十数カ国の60余校についての回答を得た。学習内容の平均像を出す資料作りが加わり、ホー

すなら、小学校課程では、キーボード、マウス操作、お絵かきから始め、文書入力、メール交換を学ぶ。授業時間は過半数の学校で週1時間以下。中高課程ではそれらにウェブサイフイン、表計算、発表資料作りが加わり、ホー

ムページ作りもしばしば学ぶ。授業時間は週1時間程度から、5、6時間以上までと偏りが大きい。コンピュータ識字は読み書き中心で、情報発信、検索、管理の学習は多くない。十分かつ安心して使えるネット環境が整っていないことが考えられる。予算措置を伴う国家政策があるという答えは少数。情報選択や人材管理への懸念を聞いた。

回答校の中でさえICT教育を受ける生徒数は男子が女子を上回っているようだが、男女差を認める意見は極めて少なかった。絶対数に差があれば、その理由を探りジェンダーバイアスの有無を確かめたかったが、意識せざる壁に切り込める鋭さが設問に欠けていた。期待と懸念はデジタルデバインド(註)を挟んで交錯し、ICT教育への期待が大きければ懸念は少ない。一国の文化媒体としてのコンピュータの

育とは何か、男女平等教育とは何か、教育課程のどこに位置づけ、何時間分の内容があるのか等々を各学校独自に考えよというのである。

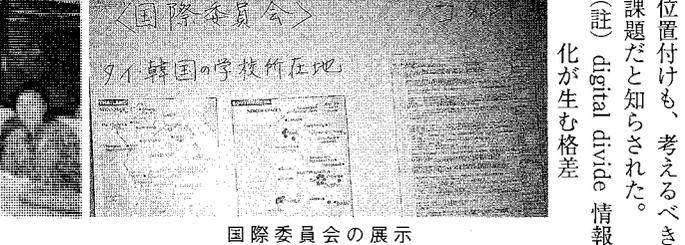
情報教育については現時点では学校裁量に任せられた新設の「総合的な学習の時間」で扱っている所が多い。しかし、男女平等教育については、授業への位置づけが情報教育に比べてむしろ少ない。「学級活動」の時間に位置づけている学校もある。日々の授業実践をこなしながら新領域の内容

開発までは、全教科を担当する小学校教諭職にとっては至難であろう。このような状況の中、岡山市において情報教育と男女平等教育の両方を教育課程に位置づけ、学年間計画を作成し、全学年で授業を試みている学校がある。今回は、情報教育と男女平等教育を融合させた授業実践事例を3例紹介するとともに、小学校におけるモノ・両面からの情報と男女平等教育の教育環境整備の現状、並びに今後の課題について提案した。

位置付けも、考えるべき課題だと知らされた。(註) Digital Divide 情報化が生む格差



財務委員会のバザー



国際委員会の展示



晩秋の三峰神社、日本武尊銅像の前で。

晩秋の秩父路 (財務バスツアー)

秋日和に恵まれた11月4日、8時半に新宿西口を出発。一路秋色深まる秩父路へと向かった。途中、長瀬の清流を眼下に眺め、紅葉を楽しみながら銘仙館に着いた。

秩父といえはすぐ銘仙をおもいつくが、かつてはこの地の重要な産業。その設備を保存し、工程を解説、製品を展示しているのが銘仙館である。実際に織り方を見せていただいたが、染めと織の技術に、当時の関係者

<理事会から>

- 2003年度国内奨学生と社会福祉奨学生が決まりました。来春1月10日の新春のつどいで奨学金贈呈式を行います。(国内奨学委員会・社会福祉委員会)
- 全国セミナーの会場でご協力いただいたアンケートが集計されました。各支部長には配布済みです。ご希望の方は、支部長または本部事務所にお問い合わせください。(企画委員会)
- 去る9月24日、役員選考委員会の伊藤俊枝委員が急逝されました。それに伴い、伊藤委員の任期残余期間(2004年3月まで)を、前任の中村ミチコ会員が務められることになり、11月の定例理事会(総会に代わり)で承認されました。

セミナーを終えて みんなの声・声・声

- パネルディスカッションは、4人のパネリストの、それぞれ専門分野からの話が聞け、とても面白かった。
- 研究発表は3つの会場に分かれてしまい、全部が聞けず残念。会員のセミナーなので、全部聞きたかった。
- プログラムが時間どおり進行してよかった。コーヒータイムも、今年はずりがあった。
- パワーポイントの使い方が、1年前に比べて、すばらしく上達した。
- レジュメの表が小さすぎて判読しにくいものがあった。

<<第210号の訂正>>

- 支部長名簿 神戸 八尾佳子 (日女) → (同志社)
- 委員会名簿 社会福祉委員会 林 千代 吉原雅子のお二人を追加。
- 新入会員 東京支部 林 千代 (日女・東洋工) → (日女・東洋院) おわびして訂正いたします。

この会報に掲載したパネルディスカッションと研究報告は、要旨です。2003年度全国セミナーの詳細は、分科会・全体討議も含めて、来春発行のセミナー報告書に掲載されます。